



27年 11月 27日

犬山市議会議長 堀江 正栄 様

(請願団体)

愛知自 実行委員会



沢下 7
館3階301号

(紹介議員)

水野正光
岡村千里
岡 寛

若者も高齢者も安心の年金制度の確立を求める請願書

【趣旨】

安倍内閣は7月に骨太方針を決定しましたが、社会保障費を3600億円も削減する一方、消費税は予定通り値上げするとしています。また年金では物価（賃金）上昇時にしか削減しないと約束した2.5%の特例水準と称する年金を段階的に削減しました。

6月支給の年金では物価は2.7%（賃金は2.3%）上昇したにもかかわらず、マクロ経済スライドの初実施も重なって、実際に年金は0.9%の上昇にとどまっています。平均4万9千円しかない国民年金の削減は年金格差を助長し、介護保険等保険料の値上げと相まって年金生活者に一層の生活苦を強いるものとなっています。

アベノミクスは、強いものをより豊かに、弱いものをより苦痛に追い込んでおり、これでは現に年金を受給している者のみならず、若い人にも将来の年金に対する不安を増長させることとなります。

以上から、年金切り下げをやめ、すべての人が安心できる年金制度の確立を求めるよう、国に対し以下の項目の趣旨の意見書を提出することを強く要望します。

【請願事項】

国に対し年金制度に関して、以下の趣旨の意見書を提出してください。

- ①マクロ経済スライドによる年金切り下げをやめてください。若い人も高齢者も安心できる年金制度をつくってください。

以上

